

桃井第一小学校の改築について

令和8年6月

杉並区 教育委員会事務局 学校運営課
子ども家庭部 児童青少年課

1. 改築の経緯

(1) 桃井第一小学校の歴史

- 明治 8 年 開校（桃園学校第二分校）
- 明治 9 年 桃井学校



※ 大正2年頃の校舎



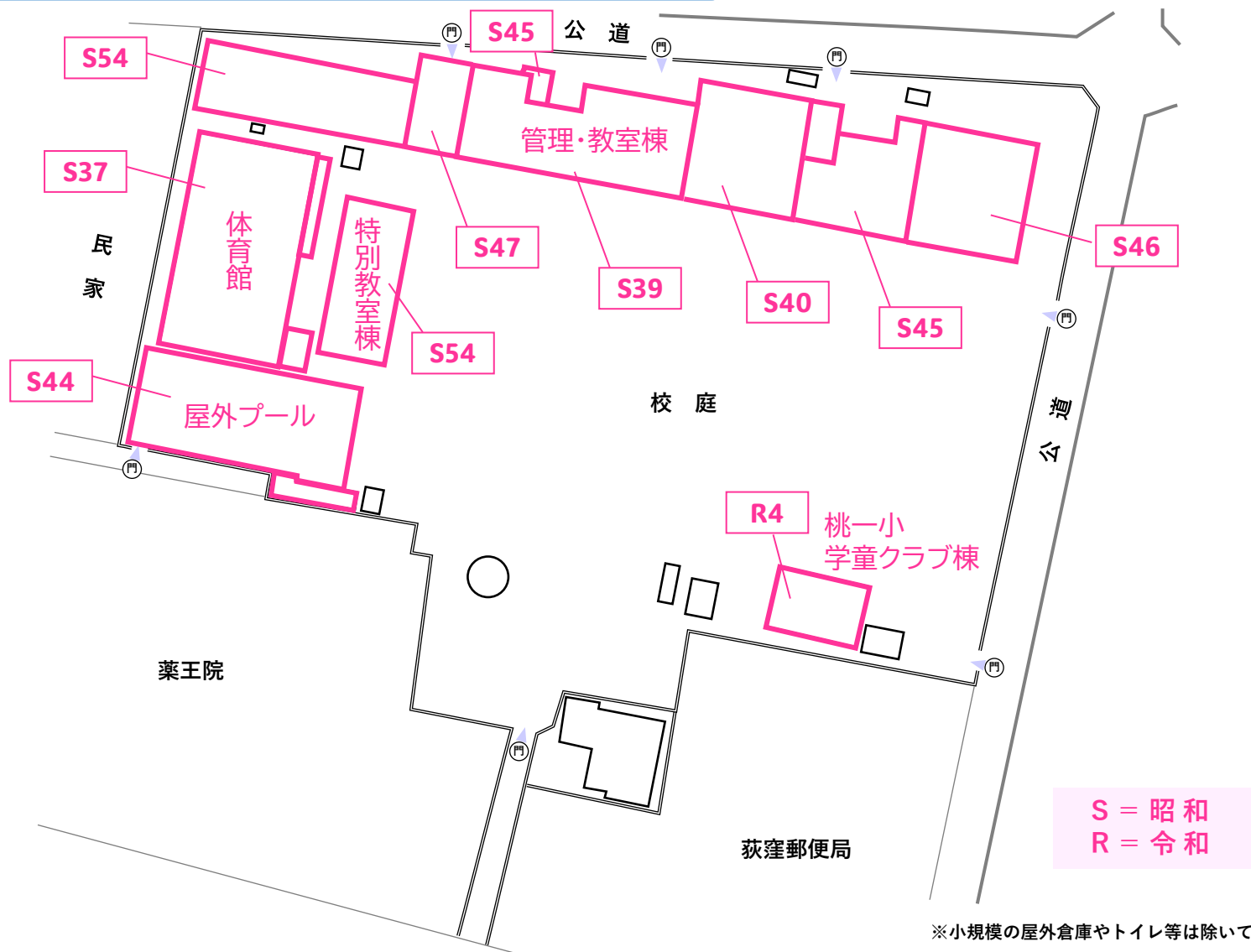
※ 昭和10年頃の校舎

- 昭和 3 9 年 最初の鉄筋コンクリート造校舎竣工、順次増築

(2) 改築計画の具体化

- 令和 5 年度 杉並区実行計画（改訂版）により改築事業の計画化
- 令和 8 年度 桃井第一小学校改築検討懇談会設置

(3) 校舎等の建築時期



※小規模の屋外倉庫やトイレ等は除いています。

2. 桃井第一小学校の概要

年 度	児童数	学級数
令和 8 年度	793人	25クラス
令和 9 年度	782人	25クラス
令和10年度	747人	24クラス
令和11年度	729人	24クラス
令和12年度	702人	23クラス

※ 令和8年度は4月現在
以降は将来推計値

敷地面積	校舎延床面積	運動場面積	体育館面積	プール
11,652㎡	5,205㎡	5,488㎡ (菜園等含む)	625㎡	25m×10m

3. 学童クラブの概要

桃井学童クラブ（桃井児童館内）

※令和8年4月現在

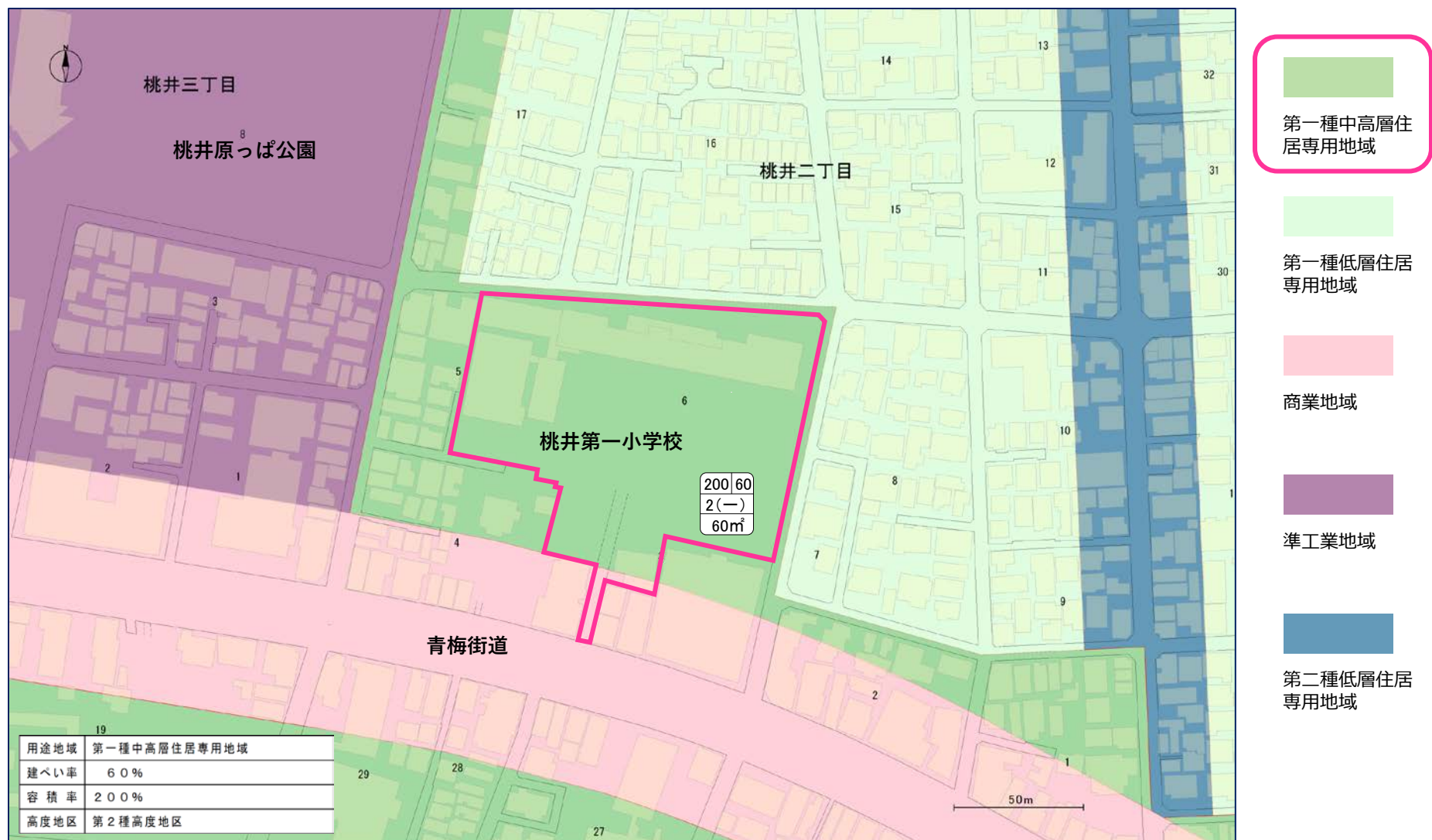
入会児童数	定員 (最大数)	待機児童数	学童クラブ 専用面積
104名	83名（104名）	4名	137.23㎡

桃一学童クラブ（桃井第一小学校内）

※令和8年4月現在

入会児童数	定員 (最大数)	待機児童数	学童クラブ
95名	86名（95名）	0名	272.88㎡

4. 桃井第一小学校の地域地区(建築時の制限)



5. 杉並区の学校等改築

(1) 杉並区の学校等施設の状況

① 施設の老朽化

区立小中学校のうち、約6割以上が築50年以上を経過し、老朽化による更新時期を迎えている。

② 児童数の推移

昭和50年代をピークに減少傾向にあった児童数は、平成17年から増加傾向にあったが、令和8年に減少に転じており、中長期的にもこれが続くことが見込まれる。

③ 改築経費

工事費は年々増加傾向にあり、改築規模のスリム化と経費縮減の取組が求められる。

※上記は「杉並区立学校施設整備計画」(第2次改築計画)(R3.3)より別添参考資料1をご覧ください。

④ 学校内の子どもの居場所

区立学童クラブについては全体で55施設あり、そのうち学校敷地内にある学童クラブは22施設となっている。

小学校内で実施する放課後等居場所事業は、令和9年度までに全校実施を予定し、令和8年度で29校実施となっている。

(2) 学校等の目指すべき姿

① 将来を見据えた環境確保

- 安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備
- 多様な教育に対応できる学習環境の整備
- 地域の拠点となる開かれた学校づくり
- 将来転用可能な柔軟性のある施設づくり
- 環境に優しい施設づくり

② 学校施設の標準規模

- 改築規模の見直しによるスリム化への取り組み
- 地域の核となる施設としての適切な施設規模の確保
- 小学校の標準建物面積として、18学級規模で7,200m²

③ 安全・安心な放課後の居場所の確保

- 学童クラブ及び放課後等居場所事業の実施

6.改築検討における主な視点

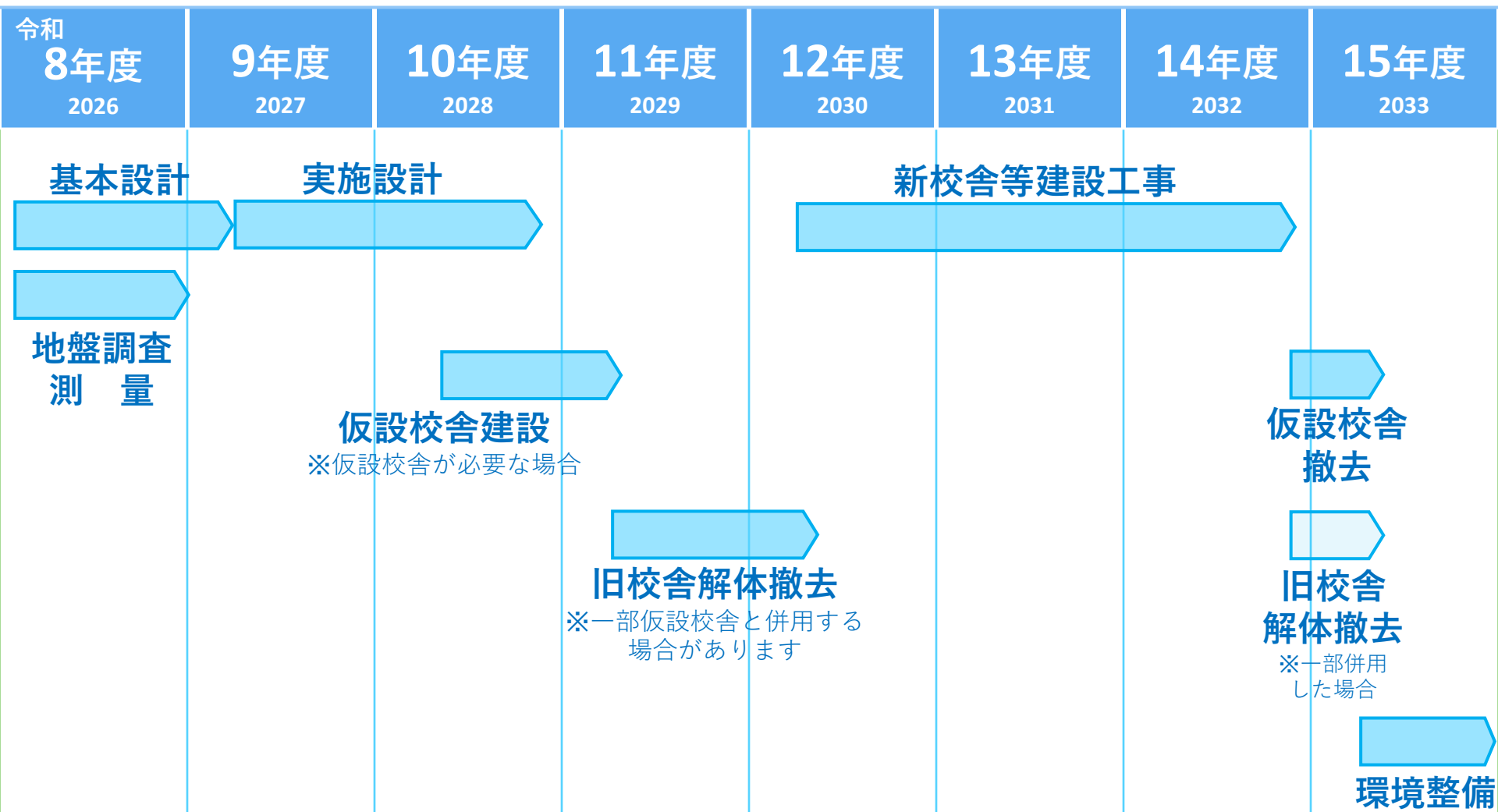
- 将来の児童数の変化に柔軟に対応できる施設づくり
- 多様な学習環境に効果的に対応できる施設づくり
- 防災機能の充実
- 地域に開かれた学校づくり
- コスト面等を含む総合的な視点に基づく計画立案。
- これまで概ね築60年を改築時期としていたが、今後は築80年程度まで活用することを目指す「長寿命化」の考え方に基づく施設整備の実施
- 桃井第一小学校は、隣接する地域の一部が第一種低層住居専用地域であることから、周辺の住環境にも配慮した改築計画
- 需要に応じた学童クラブの併設を含む小学生の居場所の観点も踏まえた検討

7.懇談会の開催予定

回数	月	検討内容（案）
第1回	令和8年 6月 6月29日	学校および桃井学童クラブ、桃一学童クラブの特色・概要 改築計画の概要
第2回	令和8年 7月	事例見学（桃井第二小学校、杉並第二小学校）
第3回	令和8年 8月	基本方針（たたき台）、改築規模・諸室
第4回	令和8年 10月	基本方針、校舎配置案（1回目）
第5回	令和8年 11月	校舎配置案（2回目）
第6回	令和8年 12月	校舎配置案（3回目）、平面計画（1回目）
第7回	令和9年 2月	平面計画（2回目）
第8回	令和9年 4月	平面計画（3回目）
第9回	令和9年 5月	基本設計まとめ

※進め方は、今後の懇談会での議論等を踏まえて、必要に応じて見直していきます。

8.改築スケジュール



※他校における標準的なスケジュール

※敷地条件・校舎配置プラン・工事範囲等により、工事期間等は前後します。

【参考説明①】杉並区子どもの居場所づくり基本方針

背景・趣旨

- これまでの児童館再編の取組の検証を行い、令和7年1月に策定した、区の今後の子どもの居場所づくりに関する取組の指針
- 児童館、学童クラブ、放課後等居場所事業など様々な施設事業を充実し、多様化する子どもの放課後の居場所ニーズに対応し、安心して過ごせる居場所を確保するための方策も具体化

児童館

- 児童館再編の考え方を見直し、今ある児童館を存置し、福祉的課題などの機能・役割を強化
- 現時点で中学校区に児童館がない地域（7中学校区）で、今後、他施設との複合化等を前提に、新たな児童館の整備を検討

放課後等居場所事業

- 令和9年度までに、すべての小学校で実施
- 令和9年度の全校実施に合わせ、諸室の利用拡大やおやつの提供を開始するなど、事業を拡充

学童クラブ

- 通所面の安全面等を考慮し、引き続き、小学校内等への整備を検討
- 放課後等居場所事業の充実により、成長段階に応じて安全・安心に過ごせる環境が整うことから、令和9年度から利用対象を見直し（原則1～3年生及び障害等のある児童）
- 学童クラブの大規模化の課題を踏まえ、150人程度を目安として職員配置を充実

【参考説明②】桃井第一小学校地域の子どもの居場所（目指す姿）

桃井児童館

○桃井児童館は存置、福祉的課題などの機能・役割を強化（館内学童クラブは学校改築に合わせて小学校内に移転整備）

放課後等居場所事業

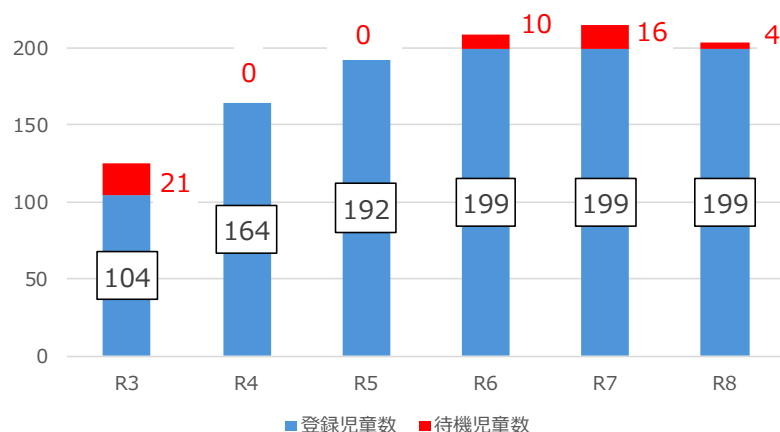
○引き続き、桃井第一小学校内で実施（令和9年度からおやつ提供開始）

学童クラブ

○既存の桃井第一小学校内学童クラブのほか、学校改築に合わせて学童クラブを整備

【参考説明③】桃井第一小学校地域の学童クラブの状況

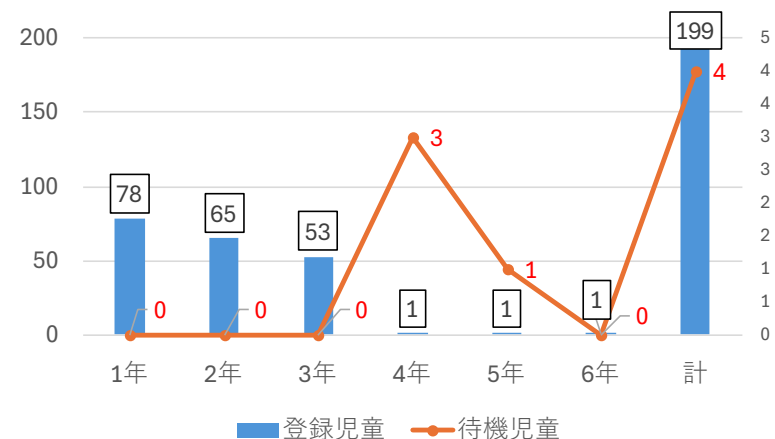
桃井第一学校対応学童クラブ（桃井・桃一）需要の推移



	R3	R4	R5	R6	R7	R8
登録児童数	104	164	192	199	199	199
待機児童数	21	0	0	10	16	4
計	125	164	192	209	215	203

※令和4年度に桃一学童クラブ開設

桃井・桃一学童クラブの登録児童・待機児童の内訳（令和8年度）



	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
登録児童	78	65	53	1	1	1	199
待機児童	0	0	0	3	1	0	4